

平成24年10月19日

各 位

会 社 名 ト レ ン ダ ー ズ 株 式 会 社

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 経 沢 香 保 子

(戸籍名：岡本香保子)

(コード番号：6069)

取 締 役  
問 い 合 わ せ 先 経 営 管 理 グ ル ー プ 担 当 郭 翔 愛

TEL. 03-5774-8871

**東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ**

当社は本日、平成24年10月19日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【単 体】

(単位：百万円、%)

項 目 \ 決 算 期	平成25年3月期 (予想)			平成24年3月期 (実績)		平成25年3月期 第1四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売 上 高	1,740	100.0	145.5	1,195	100.0	398	100.0
営 業 利 益	391	22.5	140.5	278	23.3	112	28.3
経 常 利 益	391	22.5	139.9	279	23.4	113	28.5
当期(四半期)純利益	235	13.5	151.4	155	13.0	71	18.1
1株当たり当期 (四半期)純利益	155.75円			33,553.11円 (111.84円)		51.85円	
1株当たり配当金	-円			-円		-円	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成していません。  
2. 平成24年3月期(実績)及び平成25年3月期第1四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 平成25年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(270,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。  
4. 平成24年6月15日付で1株を300株に株式分割しております。そこで、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の1株当たり指標の数値は( )内に記載しております。



平成 25 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月19日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)経沢 香保子 (戸籍名:岡本 香保子)  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)郭 翔愛 (TEL)03(5774)8871  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 3 月期第 1 四半期の業績 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	398	—	112	—	113	—	71	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	51	85	—	—
24年3月期第1四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、第1四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成24年3月期第1四半期の実績及び増減率については記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成25年3月期第1四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	860	653	75.9
24年3月期	898	581	64.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 653百万円 24年3月期 581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00	
25年3月期	—	—	—	—	—	
25年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 3 月期の業績予想 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,740	45.5	391	40.5	391	39.9	235	51.4	155	75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行なっておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しておりま

す。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	1,387,500株	24年3月期	1,387,500株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	1,387,500株	24年3月期1Q	1,387,500株

(注) 当社は、平成24年6月15日付で、普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数は、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

平成24年6月15日付で、株式1株につき300株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期累計期間におけるわが国経済は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後、経済活動は緩やかに持ち直してきておりますが、景気の先行きは依然として不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

広告業界においてもメディア市場の継続的構造変化を伴いながら国内広告全体の厳しい市場環境も常態化し、メディア環境の変化に合わせた新たなサービスへの挑戦無くして事業規模の拡大及び収益の確保を図ることは困難になりつつあります。

このような状況のもと、ソーシャルメディアマーケティング事業においては、従来より自社会員である womedia を通じて、「Web メディア」及び「マスメディア」をワンストップで連動させることで競合他社や大手代理店との差別化を図ってまいりました。

当第 1 四半期累計期間は、ソーシャルメディアマーケティング事業におきましては、引き続き大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、ソーシャルプレゼントサイト「Amaze (アメイズ)」サービスを開始し、新たな収益源の確保を図ってまいりました。

また、メディア事業におきましては、ソーシャルメディアマーケティング事業と親和性が高く、今後伸張が見込まれる市場である美容医療のポータルサイト「キレナビ」の利便性向上及びプロモーションに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第 1 四半期累計期間の売上高は 398,123 千円、営業利益は 112,563 千円、経常利益は 113,520 千円、当期純利益は 71,938 千円となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

#### ① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、「Amaze (アメイズ)」サービスを開始いたしました。

以上の結果、当第 1 四半期累計期間の売上高は 392,165 千円、セグメント利益（営業利益）は 187,133 千円となりました。

#### ② メディア事業

当セグメントにおきましては、「キレナビ」がオープン 1 周年を迎え、引き続きサイトの利便性向上を図るとともに、サイトの認知度を高めるためのプロモーションに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第 1 四半期累計期間の売上高は 5,958 千円、セグメント損失（営業損失）は 14,900 千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 1 四半期会計期間末の総資産は 860,990 千円となり、前事業年度末に比べ 37,989 千円減少しました。主な要因としましては、法人税等の支払いにより現金及び預金が 43,429 千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第 1 四半期会計期間末の負債は 207,738 千円となり、前事業年度末に比べ 109,927 千円減少しました。主な要因としましては、法人税等の支払いにより未払法人税等が 72,233 千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第 1 四半期会計期間末の純資産は 653,251 千円となり、前事業年度末に比べ 71,938 千円増加しました。主な要因としましては、四半期純利益の計上により利益剰余金が 71,938 千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は設立以来、ソーシャルメディアを活用したマーケティングを中心に事業を行っており、当事業年度においては新規事業としてメディア事業に取り組んで参りました。今後につきましては、事業方針として、ソーシャルメディアマーケティング事業の規模拡大、及びメディア事業展開による新たな収益源の構築が重要であると認識しております。

ソーシャルメディアマーケティング事業におきましては、当社が持つマーケティング技術、サービス開発力を活かして、競争力・収益率の高いサービスを改善しつつ、新サービスを定期的にリリースし拡販を進めることで収益基盤の強化を図るとともに、主要大手顧客企業数増加を最重要営業戦略と位置付け、当該企業層の開拓に取り組むことにより、収益機会の拡大を図って参ります。

メディア事業におきましては、費用対効果を慎重に検討の上、広告宣伝及びプロモーション活動を強化することで、「キレナビ」ブランドの知名度向上を図り、サイト全体への SEO 対策、自社のプロモーションリソースを活用したブロガーやメディアへのアプローチを通じて会員数を拡大することにより、収益機会の拡大を図って参ります。

以上より、当期の業績につきましては、売上高 1,740,000 千円（前年同期比 145.5%増）、営業利益 391,000 千円（同 140.5%増）、経常利益 391,000 千円（同 139.9%増）、当期純利益 235,000 千円（同 151.4%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

		当第 1 四半期会計期間 (平成24年 6 月 30 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金		452,034
売掛金		273,111
仕掛品		16,878
貯蔵品		689
その他		8,167
貸倒引当金		△1,310
流動資産合計		749,571
固定資産		
有形固定資産		30,894
無形固定資産		28,983
投資その他の資産		51,540
固定資産合計		111,419
資産合計		860,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金		65,561
未払費用		52,514
未払法人税等		36,721
未払消費税等		11,315
預り金		11,857
ポイント引当金		908
その他		13,366
流動負債合計		192,245
固定負債		
資産除去債務		15,493
固定負債合計		15,493
負債合計		207,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金		196,000
資本剰余金		175,000
利益剰余金		282,251
株主資本合計		653,251
純資産合計		653,251
負債純資産合計		860,990

(2) 四半期損益計算書  
第 1 四半期累計期間

(単位：千円)

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	398,123
売上原価	166,090
売上総利益	232,033
販売費及び一般管理費	119,470
営業利益	112,563
営業外収益	
貸倒引当金戻入益	90
ポイント引当金戻入益	1,197
その他	87
営業外収益合計	1,375
営業外費用	
支払利息	418
営業外費用合計	418
経常利益	113,520
税引前四半期純利益	113,520
法人税、住民税及び事業税	35,590
法人税等調整額	5,992
法人税等合計	41,582
四半期純利益	71,938



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	392,165	5,958	398,123	—	398,123
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	392,165	5,958	398,123	—	398,123
セグメント利益又は損失(△)	187,133	△14,900	172,232	△59,669	112,563

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,669千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。